

院内発症脳卒中对応の現状調査へのご協力をお願い

課題名：院内発症脳卒中对応の現状調査

1. 研究の対象

2016年3月1日から2017年2月28日までの期間に、川崎医科大学附属病院において、脳卒中の院内発症が疑われて脳卒中ホットラインにコールがあった患者さんが対象です。

2. 研究の目的・方法

川崎医科大学脳卒中センターでは、入院中の患者さんが脳卒中を発症された際、迅速に治療開始できるよう、院内脳卒中ホットラインを運用しています。この実態を調査する目的で、診療録より情報を収集します。

研究期間：2017年9月6日 ～ 2020年3月31日までの期間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院診療科・病棟、コールした者の職種、最終診断、発症時間、覚知から画像撮像までの時間です。本研究は治療介入をとまなわない既存資料のみを用いた研究であるため、患者さんに新たなリスク・負担はありません。また、経済的負担・謝礼もありません。研究成果は、学会や学術雑誌に発表することがありますが、匿名化を行った後に解析いたしますので個人情報が増えることはありません。研究に関するデータは学会等の発表から5年後に廃棄いたします。

4. お問い合わせ先

この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会で審査され、承認を得たものです。

研究に関してご質問がございましたら、研究責任者までご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先]

岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院 脳卒中科

研究責任者 川崎医科大学 脳卒中医学 教授 八木田佳樹

TEL:086-462-1111 FAX:086-464-1128

Email:yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究の研究資金は学内研究費を用いて行われます。本研究に関する利益相反の有無及び内容について、本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。